

# 実務実習における 総括的評価について



---

補足説明

# 教育評価

教育活動を効果的に遂行するために  
必要な**情報を収集**した後に、それを**解析**し、  
**意志決定**を行う作業

情報収集（測定）

解析（価値判断）

意思決定（合否 ・ フィードバック）



# 総括的評価への係わりについて

- 学生が日々記載する日誌や週報が  
総括的評価の判断材料になる。
- 指導薬剤師は、日々の実習において  
フィードバック（形成的評価）を行う。
- 学生が記載した内容にもフィードバック  
（形成的評価）を行う。
- これを繰り返し、実習を最後（11W）  
まで行えるよう支援する。
- 意思決定は、大学が責任を持って行う。

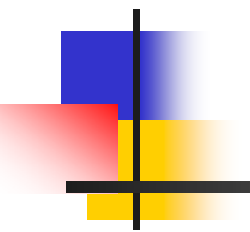
# 実務の現場での総括的評価は



**測定**：指導薬剤師

**価値判断**：指導薬剤師、担当大  
学教員

**意志決定**（単位認定）：大学



**薬局では、  
実務実習の到達度を測定し、  
薬剤師として判断した結果と  
しての評点をつける**

**(測定と価値判断)**

# ユニット6 総合実習（実践）にて、 総括的評価の測定・価値判断を行う

•学生の知識を確認する



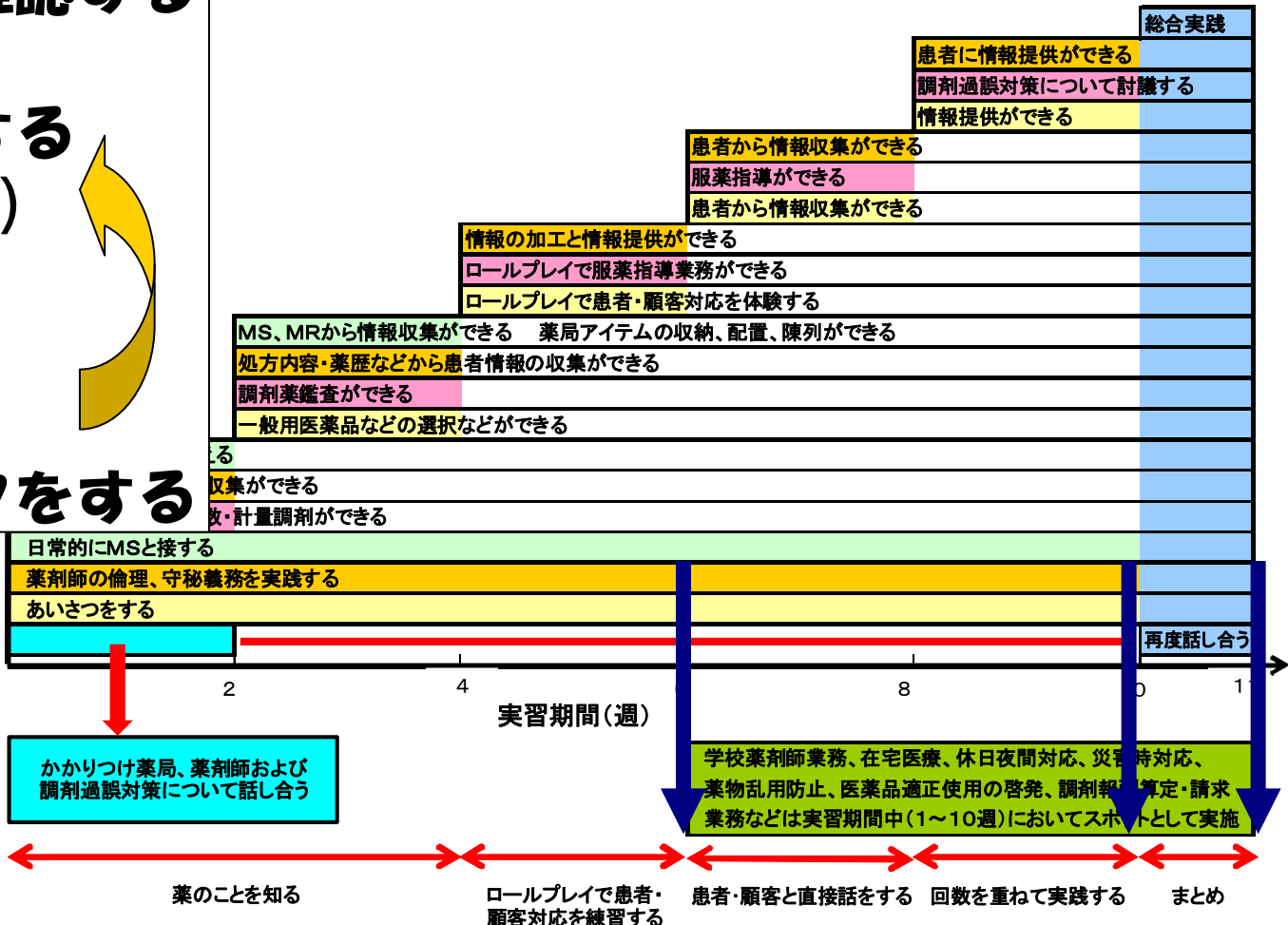
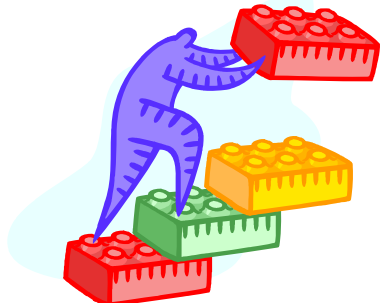
•簡単な説明をする  
(やってみせる)



•やらせてみる



•フィードバックをする





# 薬局・病院実務実習 20単位

---

- コース：実務実習事前学習
- コース：病院実習（10単位）
- コース：薬局実習（10単位）

**最終的な総括的評価（合否判定）は、  
3つのコースが終了した時に行う。  
ただし、単位認定については大学毎に違う**

**評価を行う目的**

**学習者を  
成長させるため！**